

市内中学生ら、昭和中で「生徒会サミット」

生徒会サミットでグループに分かれて話し合う中学生ら。昭和中の市高齢者就業支援センターで



来秋の「チュー祭」へ 企画アイデア議論

市内の中学校の生徒会役員らが集まり、地域貢献などのアイデアについて話し合う「名古屋市生徒会サミット2023」が二十日、昭和中の市高齢者就業支援センターで行われた。

今回十一回目で十二校から生徒二十一人や経験者の高校生、大学生ら約六十人

が参加。サミットがきっかけで始まった中学生によるイベント「チュー祭」の第二回開催を来年秋に控え、その会場で発信する内容を議論した。

名古屋の魅力に触れられるゲームや、台風の威力を体験できるVR(仮想現実)コーナーなどを提案。鳴子

台中三年の木村彩葉さんは「初対面でも一つのものをつくり上げる貴重な体験になった。来年のチュー祭には実行委員会として関わり

たい」と力を込めた。議論や発表を見守った市教委の坪田知広教育長は「OB、OGが後輩たちをサポートしていることも素

晴らしい。市教委としても、活動を大きく育てていきたい」と支援を約束した。

(宮崎厚志)